



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 タカタ株式会社
 コード番号 7312 URL <http://www.takata.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 重久
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 野村 洋一郎

TEL 03-3582-9228

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	276,545	△5.0	8,329	△62.0	7,390	△67.1	7,539	△54.1
23年3月期第3四半期	291,143	15.1	21,933	165.9	22,447	153.4	16,438	244.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △7,708百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △14百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	90.67	—
23年3月期第3四半期	197.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	289,363	145,473	49.9
23年3月期	323,928	155,312	47.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 144,515百万円 23年3月期 154,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では期末配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	△5.3	15,000	△44.1	14,000	△48.2	12,000	△34.2	144.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	83,161,700 株	23年3月期	83,161,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	296 株	23年3月期	296 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	83,161,404 株	23年3月期3Q	83,161,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績の予想は、発表日現在入手可能な情報、仮定並びに判断に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の経営環境の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。
2. 期末配当につきましては、今後の状況を見極め実施の可否及び配当金額を改めて公表させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国こそ穏やかな景気拡大を継続しましたが、欧州では債務問題の拡大を主因として大幅な景気減速を余儀なくされました。またアジアでは、中国がインフレ懸念に加え、欧州の景気減速の影響から成長ペースの鈍化が顕著となってきました。一方、日本は震災復興需要が下支えになったものの、欧州景気の減速や円高による景気下押し圧力が強まり、本格的な景気回復には至りませんでした。

このような経済環境下、自動車業界においては、米国の自動車生産、販売は比較的順調に推移したものの、ドイツを除く欧州では景気減速の影響もあり生産、販売とも不振となりました。また、中国、インドなどアジア諸国では昨年ほどの力強い伸びが見られなかった他、タイの洪水被害が特に日系自動車各社の生産、販売に悪影響を及ぼしました。一方、日本では震災による生産減少をカバーすべく、夏以降各社が増産体制を敷いたことから、回復基調が鮮明となりました。

その結果、当企業グループの業績は、欧州地域ではドイツ車の好調な輸出に支えられ好調に推移したものの、日本を中心とした震災の影響や、アジアを中心としたタイ洪水による影響などがあり、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,765億45百万円（前年同期比5.0%減）となりました。利益面では減収に伴う減益に加え、第3四半期に米国で品質問題へのコスト増加が発生した結果、営業利益は83億29百万円（前年同期比62.0%減）となりました。また、経常利益は73億90百万円（前年同期比67.1%減）、四半期純利益は75億39百万円（前年同期比54.1%減）となりました。なお、四半期純利益の前年同期比減少割合は、日蘭租税条約の発効による税負担の減少等により緩和されています。

セグメント別の業績に関しましては、以下の通りであります。

① 日本

日本におきましては、第3四半期の自動車生産、販売台数ともに前年同期に比較して増加しました。当社業績も第2四半期以降は順調な回復基調となりましたが、震災による第1四半期の販売不振の影響もあり、累計売上高は733億84百万円と前年同期比16.1%の減収となりました。また、営業利益は減収による利益減から28億17百万円と前年同期比66.0%の減益となりました。

② 米州

米州におきましては、景気の回復以上に自動車生産、販売は好調に推移し、その中でも特に米系自動車各社が大幅な伸びを示しました。当社業績も市場の動向に沿って米系自動車会社や欧州自動車会社向けの販売は好調を維持しましたが、日系自動車会社向け販売減少や円高による円換算額の減少により、累計売上高は1,089億21百万円と前年同期比6.9%の減収となりました。一方、営業利益は減収による減益や原材料費の上昇など収益悪化要因があった他、第3四半期には品質問題に対するコスト増加が発生した結果、16億80百万円の赤字計上を余儀なくされました（前年同期は30億62百万円の利益）。

③ 欧州

欧州におきましては、債務問題拡大に伴い、ドイツを除く域内の自動車生産、販売は不振となりました。一方、ドイツは国内の自動車販売が前年同期比でも増加したほか、ユーロ安の恩恵を受けて主に中国、アメリカ向けの輸出が引き続き好調に推移しました。当社業績もドイツ車を中心とする販売が好調に推移し、累計売上高は861億51百万円と前年同期比10.2%の増収となりました。また、営業利益でも43億49百万円と前年同期比72.0%の増益となりました。

④ アジア

アジアにおきましては、震災による自動車部品供給不足が発生したことに加え、10月にはタイで日系自動車会社が洪水により操業中止に追い込まれ、生産活動に大きな影響を及ぼしました。また、中国では自動車購買支援策の縮小、インドの金融引締めなど域内の自動車販売も以前の力強さに若干の陰りが見え始めました。当社業績は第1四半期の減産に引き続き、第3四半期にはタイで洪水による自動車生産の減産の影響を受け、累計売上高は559億24百万円と前年同期比9.1%の減収となりました。営業利益も減収に因る減益や、材料費及び人件費等の固定費増加を主因として28億42百万円と前年同期比65.9%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,893億63百万円と、前期末に比して345億65百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金、及び有価証券の減少によるものであります。

負債につきましては、同期間で1,438億89百万円と、前期末に比して247億26百万円の減少となりました。これは主に、円高の進展による為替換算額の減少および有利子負債の圧縮の影響によるものであります。

純資産につきましては、75億39百万円の四半期純利益を計上したものの、円高の進展による為替換算調整勘定の減少等により、前期比98億39百万円減少の1,454億73百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く事業環境は、欧州における債務問題の不透明感の高まりや、タイで発生した洪水の影響などにより、厳しい状態で推移しております。

そのため平成24年3月期の連結業績につきましては、先に公表した業績予想を下回る見込みとなりました。売上高3,700億円（前期比5.3%減）、営業利益150億円（前期比44.1%減）、経常利益140億円（前期比48.2%減）、当期純利益120億円（前期比34.2%減）と、それぞれ前回発表予想から引き下げております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,762	66,371
受取手形及び売掛金	65,204	61,357
有価証券	13,700	1,810
たな卸資産	43,831	46,073
繰延税金資産	8,056	7,585
その他	12,244	14,448
貸倒引当金	△836	△891
流動資産合計	223,962	196,756
固定資産		
有形固定資産	72,502	68,478
無形固定資産	3,048	2,553
投資その他の資産	24,414	21,574
固定資産合計	99,966	92,606
資産合計	323,928	289,363
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,845	23,116
短期借入金	6,908	11,372
コマーシャル・ペーパー	5,000	2,000
1年内返済予定の長期借入金	16,966	18,827
未払費用	13,056	10,893
繰延税金負債	175	92
未払法人税等	4,838	1,815
製品保証引当金	14,299	15,398
その他	15,037	12,569
流動負債合計	102,128	96,087
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	36,671	24,387
繰延税金負債	5,895	2,530
退職給付引当金	8,104	7,372
役員退職慰労引当金	2,343	486
その他	3,472	3,026
固定負債合計	66,487	47,802
負債合計	168,615	143,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,862	41,862
資本剰余金	42,328	42,328
利益剰余金	103,838	108,883
自己株式	△0	△0
株主資本合計	188,028	193,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,188	2,956
繰延ヘッジ損益	△26	42
為替換算調整勘定	△37,579	△51,300
在外子会社の年金債務調整額	△306	△256
その他の包括利益累計額合計	△33,723	△48,557
少数株主持分	1,008	958
純資産合計	155,312	145,473
負債純資産合計	323,928	289,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	291,143	276,545
売上原価	234,767	231,247
売上総利益	56,375	45,298
販売費及び一般管理費	34,442	36,968
営業利益	21,933	8,329
営業外収益		
受取利息	577	793
受取配当金	160	213
為替差益	179	—
その他	954	658
営業外収益合計	1,871	1,666
営業外費用		
支払利息	921	855
為替差損	—	765
その他	436	983
営業外費用合計	1,357	2,605
経常利益	22,447	7,390
特別利益		
受取和解金	275	—
特別利益合計	275	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75	—
特別損失合計	75	—
税金等調整前四半期純利益	22,647	7,390
法人税等	6,024	166
少数株主損益調整前四半期純利益	16,622	7,224
少数株主利益又は少数株主損失(△)	184	△315
四半期純利益	16,438	7,539

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,622	7,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△266	△1,231
繰延ヘッジ損益	116	68
為替換算調整勘定	△16,552	△13,820
在外子会社の年金債務調整額	64	49
その他の包括利益合計	△16,637	△14,933
四半期包括利益	△14	△7,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△192	△7,294
少数株主に係る四半期包括利益	177	△414

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	61,034	107,444	74,497	48,167	291,143	-	291,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,429	9,564	3,697	13,376	53,068	△53,068	-
計	87,463	117,009	78,195	61,543	344,212	△53,068	291,143
セグメント利益	8,288	3,062	2,528	8,326	22,205	△271	21,933

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額△271百万円には、セグメント間取引消去△217百万円、及びのれん償却△54万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 各報告セグメントに属する主な国は、下記のとおりであります。

米州・・・米国、ブラジル、メキシコ

欧州・・・ドイツ、オランダ、ルーマニア、ポーランド、チェコ

アジア・・・中国、フィリピン、タイ、韓国、インド

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円) (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円) (注) 2
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	50,419	99,471	81,780	44,874	276,545	-	276,545
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,964	9,450	4,371	11,050	47,836	△47,836	-
計	73,384	108,921	86,151	55,924	324,381	△47,836	276,545
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	2,817	△1,680	4,349	2,842	8,329	0	8,329

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去55百万円、及びのれん償却△54百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。